

# 会議議事録

会議名	令和4年度 第2回 教育課程編成委員会		
開催日時	令和4年12月23日 14:00～15:00		
会場	専門学校 越生自動車大学校 1階会議室		
参加者	外部委員	4人	(参加者名) <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <span>中妻 茂</span> <span>秋山 浩</span> <span>清水 政和</span> <span style="text-align: right;">アドバイザー 滝口 宏明</span> </div>
	内部委員	6人	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <span>理事長 一川 高一</span> <span>学校長 市川 剛士</span> <span>事務長 市川 治子</span> <span>教頭 内田 慎</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <span>教育部長 新井 司</span> <span>統括学科長 西久保 哲也</span> <span>欠席 田村 明洋</span> </div>
会議録	<p>1. 理事長挨拶</p> <p>本年度最後となる本会にご多用な中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。 60周年記念式典開催の際は、多大なるご厚誼に預かりまして誠にありがとうございました。本学は今後も地域の皆様方にご支援頂けるよう、教職員一丸となって取り組んで参る所存です。 自動車の進化に追従するべく、本学の教育内容の充実を図るためにも本会での貴重なご意見やご審議を有効活用し、自動車整備業界の発展に寄与できるよう精進したいと思います。 今後も変わらぬご支援のほどお願いいたします。</p> <p>2. 学校長挨拶(学校近況報告)</p> <p>本年度最後となる本会に年末商戦のご多用な中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。 日頃より、本学の教育活動に際しまして、ご理解とご協力を賜りまして、重ねて厚く御礼申し上げます。 先程、休業前の学生Mtgを実施し、明日からの冬季休業を迎えるべく今年の出来事を学生と共に振り返り、今年の締めくくりをさせて頂きました。 60周年を迎え、校舎・実習場もリニューアルする中、今後は、学校の本質となる教育の質の向上に取り組んでまいります。コロナ禍からは脱していない状況ではありますが、コロナとの共存を見据えて、修学旅行や技能コンクールなどの行事も、感染対策を万全にしながら、自粛せずに実施させて頂きました。 国家試験対策が始まる中、学内でコロナ陽性学生の発症や季節型インフルエンザ罹患学生の発出などの現象があり、一部のクラスで学級閉鎖措置(授業はリモートで実施)を取りました。 学生募集活動の現状は高校3年生の確保の観点からは、本年度入学学生数を下回る事となりそうである。しかしながら、2級課程から1級専攻科の方へ内部進学する学生がこれまでに多くなくなっているため、今後はより一層、1級進学者のニーズが膨らむ見立てである。 今後の整備士としての在り方について、整備学校業界の中でも話題の中心となっている現状でもあるので本学としても「整備士に求められるものは何なのか?」について、時代の流れと共に一考するべきであると考えておりますので、今後とも変わらぬご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。</p> <p>3. 出席外部委員のご紹介・出席内部委員の自己紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">司会 新井より、外部委員の紹介並びに内部委員からの自己紹介</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 令和4年度第1回教育課程編成委員会報告書について  前回(R04.07.27)の会議議事録の確認実施。  《 質疑・意見交換等 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一級希望者(進学者)が例年になく多数おり、定員変更予定で動いている。(新井)→本年度、学則の変更を進め、一級専攻科課程の定員を拡大して対応した。</li> <li>・令和9年の登録試験から現行の3月下旬に実施されている国家試験実施が3月上旬に変更される見込み。</li> </ul>		

(2) 電動車整備に対応した授業内容について

※当日配付別紙資料参照

《 説明 》(西久保)

EV車購入のユーザーが増加傾向にある中、近い将来においてはEV車整備が日常業務の中に組まれる事が想定される中、整備士養成施設である本学においても、電動者整備に関する基礎を履修させて行きたいと考えている。しかしながら、本学での現状では、1級課程での履修に留まっており、時数的(学科・実習)にも必要十分な時間の確保には至っていない。

そのような事から下記の件について、積極的なご意見やご回答を賜れば幸いです。

Q1: 業界が新人整備士に求める(期待する)技術・知識レベルについて

Q2: 新人整備士に対する「電動車」等の企業内研修・講習の有無。実施している場合は、その時期について

Q3: Q2の理由

Q4: 実施している場合は、その概要と時間について

Q5: 低圧電気取扱業務特別教育又は、電気自動車等の整備業務に係る特別教育修了者の割合について

Q6: 低圧電気取扱業務特別教育又は、電気自動車等の整備業務に係る特別教育の企業内での実施の有無(予定含む)について

Q7: 電動車等の点検・整備等に関する内容を授業(学科・実習)に盛り込む際のアドバイスについて

《 質疑・意見交換等 》

A1:(滝口) 新入社員にアンケート調査をしたところ、2級課程卒業者でも越生以外の学校卒の学生は特別教育を受講済みであった。従って、出来るのであれば、講習を受講済みの方が望ましいと思われる。

EVに関する基本的な知識は知り得ておいた方が良いと思われる。

(秋山) 本社ではまだまだEVに関する教育は、これからであると感じている。

(中妻) トヨタを中心にハイブリッド系の車両が増えているが、専門工場にハイブリッド車が入庫してくるのは新車販売後から5年ほど経過してからと言うのが現状なので、ここ最近になって専門工場にハイブリッド車が入庫してきている状況である。まだ専門工場においては特別教育受講実績は例が少ないと思われる。

しかしながら、今後を考えると学校在籍中に特別教育を受講済みの方が望ましいと考える。

振興会で実施している講習は、2級資格取得者でなくても、2日間の講習受講で特別教育は終了としている。

2級資格取得者は自動車に関する基礎知識を有しているとして、1日間の講習受講で特別教育を終了としている。

学内でも在籍期間中に特別教育は実施可能かと思うので、監督官庁などに働きかけて、実施すべきだと思う。

他校での実施実績もあるので、学内で調整・尽力して学生の将来に貢献すべきではないかと思っている。

A2:(滝口・清水)A2以降の回答については、準備してきているので、後ほど西久保先生と共有させて頂きたい。

A5:(中妻)振興会の実施実績となるが、平成11年よりスタートした修了者の割合は64%程度となると思う。

本年度10月よりハイブリッド車故障時の対応として「ハイブリッド車講習」をプリウス・アクアを使って実施した。

来年度以降の実施を見据えて、EV車講習等も企画したいと思っている。

## 5. 事務連絡(新井)

本会の外部委員の任期が2年間の為、今回委員の方全員に重任して頂きました。厚く御礼申し上げます。

・次回開催日の確認

令和5年度第1回教育課程編成委員会

令和5年7月26日(水)14:00~15:00

以上